



創造・感謝・勤労

飛 幡 中

2019年度

北九州市立飛幡中学校 学校通信

令和元年 6月10日 No. 6

発行責任者 校長 池 浩幸

学校所在地 戸畑区小芝一丁目8番20号

TEL093-882-3652 FAX 882-3618

【 3年生、修学旅行大成功に！ 】

1日(土)～3日(月)の2泊3日で、3年生の修学旅行が実施されました。修学旅行は、1年生のふれあい合宿に始まり、2年生の農泊体験学習等、様々な校外行事に取り組んできた後の総まとめの宿泊行事です。これまでの行事とは違って、更にレベルアップしてほしいとの願いから、今年もまた事前の取組として修学旅行の目標をしおりの中に下記のように設定しました。

1. 「笑顔と責任」

君たちは飛幡中学校の代表として、また、北九州市の代表としてこの修学旅行に参加します。京都・奈良・大阪には全国各地から、そして海外からもたくさんの旅行者が訪れます。

「笑顔」、「マナー」で気持ち良くあいさつをし、何事にも責任ある行動と責任ある発言を心がけてください。

熊本地震から数年がたちますが、現在も世界中の人々が復興を応援しています。まだまだ時間はかかりますが、決して下を向くことなく、こんな時だからこそ「笑顔」でふるまえる人でありたいものです。また、来年は東京オリンピックを控えています。訪問先ですれ違う人々に笑顔で「おもてなし」ができれば、それもまた胸を張っていえる「飛中魂」だと思います。

2. 「ルールと我慢」

修学旅行は集団行動です。家族や個人旅行とは違います。ルールを守らなければ、誰かが嫌な思いをしたり、全体に迷惑をかけてしまいます。実行委員の仲間が一生懸命に考えた「ルール」です。君たち自身の手で守り通してほしい。誰にでも「これくらいはいいかな」とかはあるでしょう。が、一人一人が身勝手な行動をしたり、わがままを言い出したら集団での楽しい旅行ではなくなります。各自がルールを守り、少しの「我慢」を148名の力に変えてください。

以上を合言葉に、一人一人の協力と努力で最高の修学旅行となるように、また、これを機会に3年生がさらに成長することを期待しています。

3日間の旅行を振り返り、何よりも事故や怪我は勿論のこと、病人が一人も出ずに全員無事に帰ってきたことが、最高のお土産です。好天にも恵まれ、また、暑すぎることもなく全行程をこなしました。さらに、あれだけの豪華なホテルや食事、人形浄瑠璃の観劇などは、飛幡中だからこそ取り入れることができた行程だと思います。JTB やホテルのスタッフの方々、バスガイドさんやその他たくさんの方々のご配慮があったことも忘れないでください。それら全てのこと感謝の気持ちをもって、この修学旅行を締めくくりたいと思います。お疲れ様でした。

【 そして、来週は期末考査です！ 】

早くも来週19日(水)～21日(金)は期末考査です。一学期の総まとめのテストです。各学年とも大きな行事を立派にやり遂げた後です。行事にも頑張る、学習にも頑張る、そんな飛中生でありたいものです。期末考査は中間考査とは違って9教科の試験です。早めに計画を立て、その取組みをスタートさせてください。【19(水):音美・社・技家、20(木):国・美音・英、21(金):保体・理・数】

無我夢中

勉強であれ、仕事であれ、スポーツであれ、無我夢中で取り組んでいると時間を忘れることがある。やるべきことをただやるだけ。ふとわれに返った時は気分爽快。伴う成果に思わず自分をほめたくなる。
自分の好きなこと、得意なことであれ、好きな夢中になれる。また、だからこそ好きなことはより好きに、楽しいことはいっそう楽しくなるのであろう。
ただ、世の中はいつも自分が好きで、得意なことを選べるわけではない。むしろ、時にはきらいで、苦手なことも強いられる。その至極当然の成り行きを不当ととらえたり、意気消沈したりしてはいただけない。
勉強が苦手、仕事は退屈、体を動かすことは大きらい。そんな自分でもまずは雑念を払い、目の前のなすべき物事に集中してみることである。そして無我夢中に取り組めたのなら、それは新たな楽しみの発見に違いない。
大切なのは“何をするか”ではなく、“どのような心持でするか”ということ。無我夢中の境地を追求すること、充実の人生を味わうための一つの手段なのである。

(PHPより)